コロナ安全対策で体験交流を

広島湾ベイエリア・大崎上島

自然と歴史
人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43・29平方㌔、人口約7311人の離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などにより主要都市とは短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中、島という限られた土地に生き、造船業海運業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類の柑橘（かんきつ）栽培をはじめとする農業、水産業など、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

2011年から体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性、文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。中でも1番のおすすめプログラムは、200年以上の伝統を誇る「權伝馬（かいでんま）体験」です。昔は陸の伝達手法は早馬でしたが、權伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つにして權の動きを合わせなければならず、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。また、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類の柑橘やブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験等島をまるごと体験していただけます。

また、民泊登録家庭も80軒を超え、約200人の受け入れが可能です。島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。これら「まるごと島体験」から、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育むきっかけになればと考えています。

皆さまに安心して来島いただけるよう新型コロナウイルス感染症防止安全対策やその他安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の体制でみなさまをお迎え致しますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

■SDGs取り組みプログラム

「主体的・対話的で深い学び」に加え、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。SDGsに取り組むためのプログラムも用意しています。

①權伝馬（体験人数12人）

和船文化を受け継ぐ大崎上島に200年以上も前から伝わる木造船。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる權伝馬で心を一つにチームワークの大切さを学びます。

②シーカヤック（体験人数120人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚がすむ「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし環境学習をします。

③農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

チームビルディングに最適な權伝馬体験

農業や食を学ぶ農業体験

フェリーに乗ってお別れ

瀬戸内海で船釣り体験

シーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村・田井）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail:bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・江田島

広島港から船で30分
オリーブとマリンと民泊の島

広島県江田島市は、広島港（広島市）から船で約30分の位置にあります。世界遺産の原爆ドームや宮島から近く、特に宮島から船をチャーターすると約40分で入島することができます。また、江田島市は橋で本土と接続していますので、陸路で島に入ることも可能です。所要時間は、広島市内から車で約1時間30分です。

心とココロの交流

民泊体験と家業体験

江田島市では、現在約100軒の受け入れ家庭があり、最大240人の受け入れが可能です。江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく、家族の一員としてお迎えしています。家族みんなで一緒に食事を作り、食べ、団らんを共にすることで、家族の大切さを再認識することや人の温かさに触れることができます。

また、家業体験では受け入れ家庭ごとにさまざまな体験内容を用意しています。島での生活、暮らしをそのまま体験し、受け入れ家庭と常に行動を共にすることで心とココロの交流が深まります。

さらに、江田島市産の野菜や魚介類を調理し、食べることを通じて、新鮮で安全な農作物、魚介類のおいしさ、食の大切さなども実感できます。

島ならではの体験

江田島市ならではの体験は二つあります。一つ目はオリーブ体験です。江田島市では、オリーブの栽培に力を入れており、2020年5月にアメリカで開催された国際的な品評会で、江田島市産オリーブオイルが金賞に選ばれています。この体験では、官民連携で休放棄地・遊休農地を再生したオリーブ園での学習では、山の豊かさと海の豊かさのつながりを知ることで、森林や農地を維持することの大切さを学べます（SDGs「⑧働きがいも経済成長も」「⑮陸の豊かさを守ろう」）。

二つ目は瀬戸内海の波が穏やかな海で行う、シーカヤックやSUP（スタンドアップ・パドルボード）などのマリンアクティビティ体験です。江田島湾は、瀬戸内海の中でも、特に波が穏やかな海であり、安全にマリンアクティビティ体験ができます。

安心安全な体験

周囲を海に囲まれている「島」ならではの生活に触れることで、人と人とが協力しながら生きることの大切さを再認識することができ、今後の日本を担う生徒たちの役に立てると考えています。

みなさまに安心して来島していただけるよう、受け入れ家庭を対象とした新型コロナウイルス感染症対策、食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢でお迎えいたします。ぜひ江田島市にお越しください。

家族の大切さや人の温かさを思い出にお別れ

オリーブ栽培の体験

SUP体験

瀬戸内海でシーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村・田井）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail:bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・周防大島

海☆山☆人、感動体験
自然と笑顔がいっぱいの島

山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ気候温暖で豊かな自然環境に恵まれた人情あふれる町です。周囲には五つの有人島、25の無人島があり、島の山頂からは美しい島々と穏やかな瀬戸内海の景色を望むことができます。また、ミカンの島と言われるほど農業生産のほとんどがミカンで占められています。漁業は沿岸漁業が中心で、タイやイワシ漁などが盛んです。

■民泊体験（ホームステイ）

周防大島町には80軒の民泊受け入れ家庭があり、200人まで受け入れることができます。農業と漁業を営んでいるのが特徴です。訪れた生徒を家族として受け入れ、農漁業体験や食事をはじめとする田舎暮らしの全てを生徒と共有することで生まれる「心と心のふれあい」を大切にしていく上での苦労などを聞きながら、受け入れ家庭と同じ目線で一緒に作業し、本当のやりがいを見つけてほしいと思っています。また、民泊中の食事は共同調理としています。自分たちで釣った魚をさばくなど、調理の過程に自ら関わることにより、たとえ都市部でも、「今まで体験したことのない生活、営みで、家族の温かさを感じられた」「周りの人とのつながりを大切にしたい」など、生活を共にすることで心の変化があったとの声が多く寄せられています。

■選択別体験プログラム

民泊だけではなく、多種多様な選択別体験もあり、特にその中でも「カヌー」「地引網漁」など民泊ではできない体験が人気です。

①カヌー体験

湾内で練習した後、約1㌔沖合にある無人島へ漕ぎ出します。目標に向けて漕ぐことで、確かな達成感を得ることができます。救助艇やライフジャケットなど、安全管理体制にも厳重な配慮をしています（定員40人）。

②地引網漁体験

2グループに分かれ、グループ同士声をかけあいながらタイミングを合わせて地引網を引きます。息が合わないと魚が逃げてしまうため、チームワークの養成などにつながります（定員60人）。

■SDGs取り組みプログラム

新学習指導要領「主体的・対話的で深い学び」とSDGsを組み合わせた体験プログラムを整備しています。

①海岸清掃プログラム

～漂着ゴミから学ぶ海のこと・人々のこと～

（SDGs「12・つくる責任　つかう責任」「14・海の豊かさを守ろう」）

②地域活性化プログラム～自然を活かした事業から学ぶ地域活性化～

（SDGs「8・働きがいも経済成長も」「11・住み続けられるまちづくりを」）

安心して来島いただけるよう、受け入れ家庭、体験インストラクターを対象とした食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢で心の豊かさと人間力を高める新しい価値創造につながる体験の提供に努めます。

カヌー体験

共同調理

地引網漁体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村・田井）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail:bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

ESD・若者のためのSDGs実践現場
〝日本一の田舎〟そらの郷

四国、徳島県の西部にし阿波「そらの郷」では、独自の「新型コロナウイルス対応ガイドライン」を策定し、どこよりも厳しいルールで民泊受け入れを実施しています。感染症に学び、今年度より民泊家庭戸別のHACCP衛生管理を導入いたしました。今だからこそ、そらの郷の家族となっていただき、ゆるぎない「豊かな暮らし」の中、生きた家業を共にすることで多くの気づきが得られるでしょう。「生きる知恵」の習得と「命を守る行動」をメインテーマに、コミュニケーション能力や自主性、自立心、創造力を向上させ、不確実な未来に対し、自発的に立ち向かえる若者を育成したいと考えます。

その昔、徳島県の都市部に住む人々は、標高の高い当地のことを「そら」と呼びました。そらの郷の夜空には、民家ボタルが星空とひとつとなって力強く輝いています。

そらの郷は、四国の中央に位置する「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）にあります。「大歩危・祖谷」や「吉野川」に代表される自然、歴史文化、伝説や伝承、さらに独特の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であると共に、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

■教育効果を進化させる 老舗「そらの郷山里物語」

民泊25年の歴史、地域内約180軒、同時受け入れ人数約600人。そらの郷の教育民泊家庭は、その多くが山腹の急傾斜地に、張り付くように形成される集落に存在し、特有の文化的景観を形成しています。山畑にコエグロ、石積み、家屋などが、ひとつとなった独特の風景こそが桃源郷とも称される日本の原風景です。生徒たちは家族の一員として迎えられ、茶摘みやタマネギ、ジャガイモ、雑穀の収穫など、サスティナブルな自給的農業を協働します。収穫した旬の野菜や山菜を使って田舎料理を共同調理。そして家族だんらんの食事で心の交流。〝日本一〟の厳しさを豊かさに変える暮らしを学びます。そらの郷は「地方創生の成功事例」と言われ、2016年、農林水産大臣より「食と農の景勝地」の認定。18年、国連食糧農業機関（FAO）より「世界農業遺産（GIAHS）」の認定。今年3月には、第17回オーライ！ニッポン大賞「内閣総理大臣賞」を受賞しています。また、SDGsの実践現場として、ESD（Education for Sustainable Development）推進拠点に登録されており、国内初「PBL（課題解決型学習）×STEAMプログラム」を開発し、本物の暮らしの中でプロジェクトを展開させています。事前学習、民泊、フィールドワーク・WS、パネルディスカッション、事後学習。「正解の無い不確実に挑戦する力」や「サスティナブルマインド」を身に付ける、SDGsアクティブラーニングプログラムです。未来社会「Society 5・0」の革新技術を制御し、人らしく、グローバルに活躍できる人材を育成します。

なお、すべての民泊家庭やインストラクターは、研修や安全衛生講習を受け、危機管理や安全対策に関する万全の体制を整えています。

■民泊阿波おどり

集落のにぎわいとして、念仏踊・風流踊の阿波おどりが継承されてきました。過酷な農業疲れを吹き飛ばす芸能娯楽。離村式では輪踊りで再会を誓い門出を祝います。農文化継承のSDGs特別プログラムも実施中。

■吉野川ラフティング

日本三大暴れ川、吉野川は世界クラスのラフティングコース。17年、日本初の世界選手権を開催。荒々しく雄大な流れが山並みを深い渓谷で刻み、厳かで美しい景観を創り上げています。仲間とボートを操り、激流を乗り越え、五感で大自然と対峙（たい）します。

■吉野川パークゴルフ

多世代交流型のスポーツを介し、河川環境マインドや心身の健全な成長を促し、社会的コミュニケーション能力を身に付けます。

傾斜地に点在する集落「天空の里」で田舎暮らしを体験

SDGs－PBLXSTEAMプログラムでは、地元高校生とフィールドワークなどを取り組む

世界が認めるウォータースポーツフィールド

農業体験、農文化学習

吉野川の畔で多世代スポーツ交流

一般社団法人 そらの郷
営業時間　平日8：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・松浦までお願いします
〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ995-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
URL https://nishi-awa.jp/soranosato/